

かつて小櫃川の川廻しをされたと聞く向郷の地区を通る時、私はこの地に芸術・職人の村を作れたらと思っていました。

絵を描く人、焼き物を作る人、木工家、布を織り、染色する人、石を刻む人らが集って一つの集落を作り、文化芸術を中心とした観光の里を作れたらと思っていました。

先日私の友人の四方邦晴さんが、フロリダ州のディズニーワールドで有名なオーランド近くの古い町「マウントドローラ」という人口凡9千人の美しい町へ行かれ「秋元さん、市長さんを連れて是非一度見て来て下さい」とその町の話をしてくれました。

ご存知の様にフロリダは観光とオレンジの栽培でメキシコ湾に面した気候が温暖な地であります。

この町の特徴は、人口の70%が退職者が移住して出来た町です。気候がよく、市民税、相続税が軽減されており、周囲にゴルフ場が多いことから退職者の人気がいいのであります。

彼等は退職後、この地に移り住んで、週5日はゴルフを楽しみ、2日は休養と雑事を処理に使っています。夕食は毎日10人から20人位のグループでレストランで会食してコミュニケーションをはかり、人生をエンジョイしております。ですからレストランはいつも満員です。食事のお値段も安く平均1,000円から2,000円位でした。ゴルフ以外にも野球、ソフトボール、釣り、水泳等あらゆるスポーツの施設があり、スポーツ以外でも音楽・ダンスなどが楽しめる施設が完備しています。これらの使用料は、毎月13,000円を払えば全て無料なのだそうです。食費を除いて生活費はこの使用料を含めて90,000円位です。

このコミュニティの交通は、すべてゴルフカートです。ゴルフカートのスピードはせいぜい時速20キロ位ですから、老人達にとってはきわめて安全な交通手段だと思えます。

退職者の街はここだけではなく、マウントドローラから北へ車で30分位の所にアメリカ最大退職者社会ビレッジスの町があります。周囲16キロ四方の広大な敷地に6万人が暮らしており、ここには病院、デパート、スーパー、商店街、レストラン、劇場、映画館、ホテル等があります。

住宅価格は1,000万円から4,000万円位で、平均2,000万円台が多い様です。この地域だけで毎年1,000人位の人口が増加している様です。

今回の旅を通してつくづく感じたことは、日本とアメリカの国情は違いますが、アメリカ人は退職後の第二の人生を積極的にエンジョイしようという気持ちが、日本人より強いと思えました。日本にも経済が一段落すればアメリカの様な退職者社会が訪れると思えます。今一つ感じたことは、君津市の立地条件は気候温暖、広大な土地、そして山あり海あり湖あり、ゴルフ場も多く、水と緑の大自然に恵まれた土地であります。フロリダの退職者社会を作った条件と非常によく似ており、百聞は一見にしかずです。市長さん、議員さん達と是非見てきて下さいと四方さんに言われて、私は向郷を想定し、亀山、清和の湖、ゴルフ場を思い浮かべて、この友人四方さんの旅行談が参考になればと書かせて頂きました。